

## 会議結果報告

### 1 会議の名称

平成 28 年度第 1 回光市環境審議会

### 2 開催日時

平成 28 年 10 月 27 日（木）15 時から 16 時

### 3 開催場所

市役所本庁 3 階第 5 会議室

### 4 出席人数

委員 11 名（3 名欠席）、事務局 7 人

### 5 公開・一部非公開の別

公開

### 6 会議の議事録（要旨）

#### （1）開会

#### （2）会長あいさつ

本日は 2 つの報告事項があるが、忌憚のない意見をお願いしたい。

#### （3）議事

ア 第 2 次光市環境基本計画の取組状況について

「第 2 次光市環境基本計画の取組状況について（平成 27 年度）」事務局から要旨を説明

#### 【質疑・意見等】

（委員）

鳥獣被害について、最近はアナグマ被害が多いと聞くがいかがか。

（事務局）

廃屋の床下に住んだり、家屋に対する被害がいくらかあるとは聞くが、その程度しか把握していない。

（委員）

どんぐりランドの整備について、クヌギよりマテバシイの方が良いのでは。マテバシイは、暗いところでも良く育ち他の木に負けないもので、市内では牛島に多く生息

している。

(事務局)

確かに渋がなく容易に食べることができ、実が大きいのでクラフトにも使える。意見として所管に伝えておく。

(委員)

有機性廃棄物の堆肥化について、有機性廃棄物とは具体的に何か。

(事務局)

食物残渣等のことで、農業耕地課において調査研究を行った。

(委員)

地域公共交通の充実及び利用促進に関連して、現在のバスについて、乗車人数が少ないので小型化すべきだし、これからの高齢化時代に対応した低床バスが良いのではないか。環境にも人にもやさしいバスの導入が望まれる。

(事務局)

現在、商工観光課において「光市地域公共交通網形成計画」を策定中であるため、意見として所管に伝えておく。

(委員)

ドイツでは、車がなくても生活できるシステムが完成していると聞く。

フォアキャスト（過去の経験から考える）とバックキャスト（あるべき姿から考える）というものの考え方を、計画策定に取り入れてもらいたい。

(委員)

生ごみリサイクルの推進のうち、段ボールコンポストの助成対象は家庭か。他県では、学校に段ボールコンポストを取り入れ、堆肥化やごみの行方の学習を行っていると聞いたが、検討してみてもいいか。

(事務局)

助成対象は家庭である。段ボールコンポストは生ごみを堆肥化するものであるため、味のついている給食残渣は適さない。家庭から生ごみを持参すればよいが、実施には検討が必要であると思う。

(委員)

可燃ごみ袋は燃やしても害はないのか。

(事務局)

袋はポリエチレン素材で、ダイオキシンの発生は限りなく抑制できるものである。

イ 光市の環境について

「光市の環境について（平成27年度光市測定分）」事務局から要旨を説明

【質疑・意見等】

（委員）

公害苦情のうち、大気汚染と水質汚濁の主な内容を教えてほしい。

（事務局）

大気汚染の苦情は全て野焼きで、水質汚濁は河川への油の流出である。

（委員）

特に問題とする苦情ではないと理解した。

（委員）

大腸菌群数と下水道の進捗状況との関連はないのか。

（委員）

下水道普及率が上昇すると、河川に流れ込む大腸菌が減るという理屈だと思うが、下水道が完備すると川の水量が減る。群数は一定の量に対する大腸菌の密度であるため、下水道普及率イコール大腸菌群数減少とは必ずしも結びつかないという考え方もある。

ウ その他について

（事務局）

光市一般廃棄物処理基本計画の策定について説明

今後の予定について、3月開催について説明

（4）閉会

（部長あいさつ）

いろいろな視点、観点からのご意見や参考になるご意見ありがとうございました。